

入居企業紹介

その62

SIC-2 501

SICに入居されている企業をご紹介します。

アムコテクノロジー株式会社

「為せば成る 為さねば成らぬ何事も」



■代表プロフィール

代表取締役 吉田多加志(よしだ たかし)さん
昭和2年、岩手県生まれ。
現在、横浜市の綱島に在住。
今、千日草とゆりがきれいだと言うガーデニングが趣味の82歳。

■起業しようと思ったきっかけは？

岩手県で生まれ、青年期に徴兵され、中国で終戦を迎えた。帰国後は、鉄鋼やプラスチックなどの製造業を経験し、材料メーカーの研究開発部長の時に「細かい商売より、大きな商売をしたい。」と不動産会社を創業する。多くの不動産の売買を手がける中でアトピーやぜん息を抱える家族との出会いがあった。このことが、アムコテクノロジーを誕生させることとなる。

アトピーやぜん息で悩む人々のため、「人生に潤いを」「生活に安らぎを」をモットーに環境の改善など、健康であるためにささやかなりとも社会に奉仕しようと、1999年、除去剤の開発に着手した。

それは、当時、まだ話題になっていなかったシックハウス症候群の原因である建材や壁紙などに含まれる化学物質ホルムアルデヒドの除去剤である。

神奈川県産業技術センターの支援を受け、ホルムアルデヒド除去剤「ホームツール」として商品化に成功する。

■事業紹介

シックハウス症候群対策「ホームツール」の開発、製造、販売を手がけている。

2003年、全ての建築物の居室で、使用する建材の規制や、換気設備の設置義務付け等、化学物質の室内濃度を下げするための対策がとられることとなった。

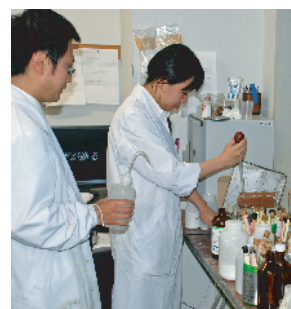
当社が開発する除去剤は、1~2%を塗料又は接着剤に混ぜると、ホルムアルデヒドの発散を0.1mg/ℓ以下の(F4:建築基準法)レベルに抑えることができる。これは、特許を取得している。

■一番苦労していることは？

混ぜる塗料に対して異なる成分配合の「ホームツール」の開発・製造は、ここ数年で採用した若手技術者が力をつけている。

しかしながら、目下の課題は、営業力が不足していること。

大手塗料メーカーとの取引も始まり、営業を任せられる人材の採用・育成が急務である。



研究室の様子

■これからの夢または目標は？

戦争を経験し、戦後の復興期、高度成長期、石油ショック、バブル景気、バブル崩壊など日本の戦後経済を歩んできた自分の人生を、「不死鳥のような人生」と言う。さまざまな困難に、

「絶対にあきらめないこと、絶対に成功することを信じること」

で乗り切ってきた自負がここにある。

夢は、更にひとつの事業を世に出すこと。

「人生、為せば成る 為さねば成らぬ何事も・・・だよ。」
笑う吉田社長の一言に、経営者としての信念を見た。

【お問い合わせ先】

アムコテクノロジー株式会社
SIC-2 501号室 TEL: 042-770-7750
URL: <http://www.amct.co.jp/>



SICからのお知らせ



さがみはら子どもアントレプレナー
体験事業実行委員会からのご案内

今年もジュニアアントレ、子どもアントレを開催いたします。
(下記のカレンダーを参照ください)
短い時間の中で制作した商品を、最終日に販売いたします。ご興味のある方は、是非ご来場ください。

《ジュニアアントレ》

日時：8月9日(日) 午前10時～12時まで
場所：STATION SQUARE
(小田急線 相模大野駅 南北自由通路 改札出口正面)

《子どもアントレ》

日時：8月22日(土) 午前10時～12時まで
場所：コーナン相模原西橋本店2階

石川の東海道 道中記 第10回

—平成21年5月16日(土) 石薬師宿～鈴鹿峠宿—

名古屋駅6:33発、関西本線亀山行きに乗車し7:35加佐登駅着。15分ほど歩くと庄野宿に入る。当時の面影を残す建物が数軒あり、江戸時代の油屋が庄野宿資料館となっているが、ひっそりした佇まいの宿場である。町の外れには女人堤防の碑があり、文政の頃鈴鹿川がたびたび氾濫し、藩にその修築を申し出たが許されなかった。女性たちは禁を犯し打ち首を覚悟で補強をした結果、女性たちは一旦刑場に送られたが赦免の早馬で救われたそうだ。災害との闘いは今でも各地で続いているが、女性が主体となった記念碑は珍しかった。天気予報の通り早速雨が降り始める。一山越えれば鈴鹿サーキットなのでエンジン音が遠くに聞こえる。

次はローソクで有名な46番目の亀山宿で、城下町らしく道がくねくね曲がり、家々には当時の屋号札が掛けられている。本陣跡等を見学した後は亀山城の多門櫓へ向かう。三重県では唯一現存する城郭建造物で県の史跡であり、その昔は蝶が舞う姿にたとえられ、粉蝶城(こちょうじょう)ともよばれたそうだ。



眺閑亭(ちょうかんてい)から見た閑宿の町並み

西に進むこと1時間程で、「鈴鹿の関(すずかのせき)」の名に由来する閑宿に入る。東海道の宿場のほとんどが旧態を留めない中において、歴史的な200軒以上の町並みが1.8km残り、国の重要伝統的建造物群保存地区に指定され、郵便ポストも「書状集箱」となっていた。

当時の旅籠玉屋が歴史資料館として開設され、2階へ上がると、お膳や寝具が座敷に並べてあり、旅籠の雰囲気をつかむことができる。観光客は他の宿場にはみられないほど多いが、雨は土砂降り、土産物屋・喫茶店等に避けていて町並みには人はほとんど歩いていない。

残念ながら名勝で知られる筆捨山も鈴鹿峠も見えず、上り坂を沓掛・坂下民芸館・坂下宿と2時間半歩き続け、鈴鹿峠下の今日の宿泊場所「バーベキュー鈴鹿峠」に15:40到着、歩行距離は2.5kmでした。

当日の宿泊客は我々だけで、岩魚や猪鍋をいただき、ずぶ濡れの日だったことも忘れ、ご機嫌な夜でした。 つづく

SICの四季



スギナ(杉菜)：科名：トクサ科 / 属名：トクサ属。多年草のシダ植物。学名：Equisetum arvense。日本全国どこでも自生している。ヨーロッパでは古くから熱をさげたり、ガンを予防することが知られていた。日本には江戸時代、オランダやポルトガルとの交易で、スギナの薬効が伝えられたとされている。腎臓炎、利尿、肺結核、肋膜炎、膀胱炎、皮膚病に効果があるとされ、スギナ風呂は、ウルシかぶれのようなかぶれやかゆみなどの和らげる効果も強く、アトピー性皮膚炎などにも効果があるとされている。

2009年8月

【今月の経営スケジュール(3月期決算の会社参考)】

経理：7月源泉税・地方税納付、給与計算・試算表作成

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31 SIC成長 産業セミナー3	1 ジュニアアントレ (1日目)
2 ジュニアアントレ (2日目)	3 会議室10月分 予約受付開始	4	5 ジュニアアントレ (3日目)	6	7 さがみはら 未来塾	8 ジュニアアントレ (4日目)
9 ジュニアアントレ (5日目)	10 *SIC-1 エレベーター点検	11 SIC-2 窓ガラス清掃	12	13	14	15
16	17 子どもアントレ (1日目)	18	19 SIC-2 害虫駆除	20 子どもアントレ (2日目)	21 さがみはら 未来塾 子どもアントレ (3日目)	22 子どもアントレ (4日目)
23 30	24 31	25	26	27	28 SIC成長 産業セミナー4 職場リーダー養成塾	29 職場リーダー養成塾

*エレベーター点検 SIC-1 10:00~11:00の間はご利用になれません。お問い合わせは 生井(内線1116)まで



青山学院大学

理工学部
附置機器分析センター
技術主幹 中村 新一 氏

— 第1回（2回連続でご紹介してまいります） —

1. 機器分析センターの設立目的

大学の先端科学分野の研究に欠かせない最新装置および大型機器を集中的に管理し、効率的に稼働・運営させることで、学内外の教育・研究の活性化を図り、産業界や地域との連携を強化する目的で、2003年4月の相模原キャンパス開校と同時に理工学部附置として機器分析センターは作られました。

ここでは主に機器による分析および分析技術の研究・開発を核に、学内外の共同研究を推進しています。また大学院における研究、教員の研究教育体制の場とともに、地域・社会に開かれた教育研究の場として大いに活用されています。ちなみに機器分析センター長は物理・数理学科の秋光純教授が務めています。

2. 所有の分析装置

本学の分析センター所有の分析装置を図1に示します。これら分析機器は相模原キャンパス構内のK棟1階部分にすべて集結して置いてあります。

表面分析 導入年度 ・ X線光電子分光装置(XPS) 07年	結合状態・化学状態解析 ・ 電子スピン共鳴装置(ESR) 96年 ・ レーザラマン分光装置(LRS) 07年
表面形態／観察 ・ 走査電子顕微鏡(FE-SEM) 97年 ・ 原子間力顕微鏡(AFM) 96年	構造解析 ・ 400kV透過電子顕微鏡(HR-TEM) 04年 ・ 200kV透過電子顕微鏡(TEM) 94年 ・ 120kV透過電子顕微鏡(TEM) 82年 ・ 電子プローブマイクロアナライザー(EPMA) 03年 ・ 高性能薄膜X線解析装置(TF-XRD) 03年 ・ X線応力測定装置(XRSA) 05年
前処理・加工 ・ イオンミリング装置 05年 ・ 集束イオンビーム加工装置(FIB) 96年 ・ ダイシングソー(精密切断機) 05年 ・ ウルトラマイクローム(UMT) 06年	

図1 分析センター 所有装置（分析分野と装置の位置づけ）

透過電子顕微鏡(TEM)、走査電子顕微鏡(SEM)、電子プローブマイクロアナライザー(EPMA)、薄膜X線回折装置(TF-XRD)を中心に、極最表面の結合状態がわかる最新のX線光電子分光装置(XPS)や化学状態解析ができるレーザラマン分光装置(LRS)、電子スピン共鳴装置(ESR)の大型分析装置のほかに、集束イオンビーム加工装置(FIB)をはじめ各前処理・加工装置を完備しています。

いずれも透過電子顕微鏡室と機器分析室の2室において集中管理し、装置の有効利用と稼働率向上を図っています。その機器分析室の様子を写真1に示します。

例えば、電子顕微鏡によるナノ材料・領域の解析として、400kV高分解能透過電子顕微鏡を軸に、FIB(Focused Ion Beam)、ウルトラマイクローム、イオンミリングなどの前処理を駆使し、ナノ材料などの高度な構造解析を行なうことが可能で、それらの技術を有料で指導することもできます。

光電子分光、レーザラマン分光による局所化学状態解析リアルタイムで高速イメージングができるXPSおよびLRSを用いて、局所領域の化学状態を解析することが可能です。この他に電子線マイクロアナライザーや薄膜X線回折装置等を併用し、各種材料の総合的な解析評価が確実に行なえます。さらに分析センターは企業への技術支援、大学や研究機関との共同研究を積極的に進めています。その支援に当たり、必要に応じて技術指導契約等を締結させていただき、産学公連携の強化を図っています。



写真1 分析センターの機器分析室

— 次号9月号につづく —

【お問い合わせ先】

分析技術相談について：

青山学院大学 理工学部附置機器分析センター ☎042-759-6240

共同研究について：

青山学院大学 研究支援ユニット課長 杉野 郡二 ☎042-759-6056

<http://www.aoyama.ac.jp/college/ssi/index.html>

ご案内

南西フォーラム 職場リーダー養成塾(第3期)

3つの方針

- 1、コミュニケーションスキルを鍛える
- 2、他流試合で切磋琢磨する
- 3、身近な課題を解決する

期待できる5つの成果

- 1、経営者の考えを自らの仕事に反映する。
- 2、部下の能力を最大限に引き出す。
- 3、指示待ちではなく、自分で考え、自分で行動する。
- 4、身近な悩みを解決して自信を持つ。
- 5、若手リーダー間の人脈をつくる。

【募集要項】

日時：平成21年8月28日(金)～平成22年1月29日(水) 全9日間

会場：さがみはら産業創造センター(SIC)他

対象：中小、中堅企業の職場リーダー候補

募集人数：16人程度

受講料：84,000円(1泊2日の合宿費を含む)

割引制度があります。お問い合わせください。

主催：相模原市、首都圏南西地域産業活性化フォーラム、SIC

協力：ホテル ラポール千寿閣

詳細：SICホームページをご覧ください。

<http://www.sic-sagamihara.jp/jinzai/leader/index.html>

お問い合わせ先：SIC-2 担当 稲垣(内線2003)

企業をサポートし隊!!

【シリーズ企画 企業支援の現場から・・・デザイナー編】

全4回

デザインというやり方。

- 第1回 -

デザインとは何か?

こぞ企画

デザイナー 小崎 直利

今回から全4回にわたって、デザインについて書きたいと思います。馴染みの薄い領域だと思いますので、第1回目は「デザインとは何か？」を私の観点から紹介します。

デザインは誰でもやっている行為

「デザイン」と聞いてどんなことを連想するでしょうか？アート、ファッション、スタイリング、装飾、車のデザイン、よく分からない分野、カッコイイもの、苦手なジャンルなど様々なイメージをすずと思います。「デザイン (Design)」を日本語では「意匠」と訳します。さらにこの漢字の意味を辿ると【意=心の働き。思っていること。気持ち。考え。】【匠=すぐれた技術、あるいはそれをもつ人】とあります。私はこれを「想いを表すために工夫を凝らすこと」と解釈しています。こう聞くと、専門家でなくとも誰しもが日々やっていることだと感じないでしょうか？「ある事を直接会って伝えた方が良いか電話で伝える方が良いかメールにするか、あるいは別の方法で…」と考え始めた時からデザインするという行為は始まっています。私の仕事はその延長線上にあります。

デザインはどこから生み出されるのか？

デザイナーは、成果物やその名前のひびきから何かおもしろいアイデアを自ずと考えてくれるというイメージを持たれます。それは誤解です。デザインのアイデアはお客様の「想い」から生まれます。デザイナーが用意しているものではあ

りません。「想い」がより明確であればあるほど、より強いほど良いデザインは生まれやすいのです。良質なアイデアはお客様とデザイナーの綿密な共同作業から生み出されるものなのです。お客様の「想い」をはっきりと理解することはデザインの仕事をやる上で一番とっていいほど重要なことです。

デザイナーの役割

先日新しい服を着て出かけたとき、待ち合わせた友人に「襟に服のサイズのシールが付いているよ」と言われ、はっとしたことがありました。私はその友人と会うまでの間ずっと S サイズのシールを付けたまま電車に乗り、街を歩いてたわけです。前述で「想い」がより明確であればあるほど、より強いほど…と述べましたが、自分のことをしっかりと自覚するのは難しいことです。そこでデザイナーは客観的な立場から質問を繰り返し、的が絞れてきたら「こんな工夫をしたら想いが伝わり易くないですか？」とデザインアイデアを提案していきます。認識可能になった姿（アウトプット）を見て初めて「想い」が明確になることがよくあります。こうしてお客様の「想い」を一緒に探り当てると同時に、認識可能になりやすい姿にまで持ち上げること（ビジョンをビジュアライズすること）がデザイナーの担っている役割だと思っております。



JR 矢部駅周辺の住宅
SIC アドバイザー 権藤徹志さん画

チャレンジショップを担当の飯山インキュベーションマネージャーの「飯山のいい店み〜つけた!」と「山本のめし屋レポート」を隔月で掲載しています。

山本のめし屋レポート

川魚山菜料理

「両国屋」

山梨県道志村にある「両国屋」を紹介します。山梨と言っても相模原市に隣接してるんですよ。釣り宿ですが、手打ちうどんがおすすめのお店です。知人から「ここの肉うどんは絶品」と聞き、青根に行ったときに寄ってみました。今回、私達3人が食べたのは冷たい手打ちうどんと天ぶらの盛り合わせです。うどんが供される前に「キャベツのおしんこ」「おからの酢の物」が山盛りでできました。それがなかなかの美味です。ご飯と味噌汁があれば定食になりそう！期待どおり、うどんも手打ちでとても美味しい。また、ここのご主人は気さくで楽しく、釣りや川魚の話をたっぷりしてくれます。川魚も楽しめる歴史のある店です。一度行ってみたいはどうか。



肉きのこうどん (750円) & 天麩羅うどん (900円)

■住所 道志村月夜野45 ■Tel:042-787-2023 ■営業時間 だいたい8:00~21:00 (釣り客にもよります。お客様がいらっしゃる間開けてます。) ■年中無休

編集後記

梅雨が明けたのか明けていないのか分からない天候が続いています。雨が多い上に日照不足と、今年の作物はかなりダメージを受けているようです。夏休みと言えば、海！山！川！、読書、自由研究、宿題、補習？、絵日記、田舎、すいか、カブト虫、と連想するものは、たくさんありますが、私は「かんゆ」を思い出します。好きではありませんでした。ご存知の方は、around 50歳位までかな？ 荻島

★ご意見・ご感想をお待ちしています。(株) さがみはら産業創造センター (SIC) 〒229-1131 相模原市西橋本 5-4-21 電話:042-770-9119 FAX:042-770-9077 ホームページ: <http://www.sic-sagamihara.jp> E-mail: koho@sic-sagamihara.jp